後付けリモコン電気錠

Re·born Ⅱ
〈リ・ボーンⅡ〉

LAタイプ/LSPタイプ/TXタイプ

取扱い説明書 **保証書付**

このたびは『Re・born Ⅱ』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
また本書は必要な時に取り出せるよう大切に保管してください。

もくじ

安全について……………………………………………………… 1
Re・born Ⅱ をお使い頂くにあたって ………………………… 2〜5
取付け前にご確認ください
　取付け可能な錠前かの確認
　対応扉厚の確認
　本体取付けに必要な寸法
　取付け図
　セット内容
LAタイプ取付け作業…………………………………………… 6〜9
　ベースプレート取付け作業
LSP・TXタイプ取付け作業………………………………… 10〜11
　ベースプレート取付け作業
LSPタイプ取付け作業……………………………………… 12
　隙間調整方法
本体取付け作業……………………………………………… 13〜15
カバー取付け／取外し方法………………………………… 16
ノブキャップ取付け方法…………………………………… 17
ディップスイッチの設定変更……………………………… 18〜20
　L/R切り替えスイッチの設定変更
　自動施錠機能について
　ブザー音について
電池交換……………………………………………………… 21〜22
　本体の電池交換方法
　リモコンキーの電池交換方法
リモコンキー（追加）登録方法…………………………… 23〜25
　リモコンキー（追加）登録
　リモコンキーの登録･抹消
リモコンキー・手動の操作方法…………………………… 26
作動範囲及び仕様について………………………………… 27
故障とお考えになる前に…………………………………… 28〜29

重要なお知らせ

⚠警告

●安全のために、必ずお守りください。
『Re･born Ⅱ』のご使用及びお手入れは、この取扱い説明書にそって行ってください。
もしこの取扱い説明書に従わず、乱用又は誤用によるケガ及び損害が発生した場合は、
株式会社ユーシン・ショウワ及び、その販売会社に責任は無いものとします。

●この取扱い説明書についての質問、又はより詳しい情報が必要な場合は、弊社営業部までご連絡ください。

問い合わせ事項	連絡先	所在地・TEL	
全　般	本社営業部	〒567-0063　大阪府茨木市中河原町17-35	TEL.072-643-5657
	東京支店	〒105-0012　東京都港区芝大門1-1-30　芝NBFタワー	TEL.03-5401-4667
	福岡出張所	〒812-0016　福岡県福岡市博多区博多駅南3-15-13	TEL.092-451-8755

安全について

警告用語の種類と意味	この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って次の3段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意　　味
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の障害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障につながる場合に用います。

お 願 い

・機器はラジオ・テレビ・コンピュータ・OA機器・電子レンジ・コードレス電話機・エアコンなどから2m以上離して設置してください。
・リモコンキーは精密電子機器ですので、落下等の強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
・リモコンキーは水にぬらさないようにしてください。もし水にぬらした場合は直ちに水分を拭き取ってください。
・リモコンキーを車中や日向等の高温（50℃以上）になる場所に放置しないでください。故障の原因になります。
・本体に、寄り掛かる、物をぶら下げる等、大きな力を掛けないでください。
・以下のようなときはリモコンキーにて施解錠ができなくなります。外出時には必ずカギ（メカキー）を持参してください。
　○リモコンキーが電池切れの場合
　○本体が電池切れの場合
　○リモコンキーを持たずに外出された場合
　○周囲温度が0℃以下または50℃以上の場合
　（使用電池により、作動できる温度範囲が変化することがありますので、ご注意ください）
・油等によるひどい汚れは、プラスチック用クリーナー・中性洗剤等で拭いてください。（シンナー・ベンジン等は使用しないでください）
・リモコンのボタンを押すと、2秒間電波が出ます。その間は操作ができないため連続で操作する際は、3秒以上間隔を開けて操作してください。

アドバイス

・リモコンキーを携帯電話や無線機などの、無線通信機器と一緒に携帯しているときや、リモコンキーが金属製の物に覆われているとき、近くで電波式の他のリモコンキーを操作しているとき、又はパソコン等の電化製品の近くに置いたときは、リモコンキーの機能が正常に作動しないことがあります。
・リモコンキーの電池消耗時や強い電波・ノイズのある状況下などでは作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

個人でお取付けされたお客様へ
弊社指定のサービス代行店（USSD店）で施工していないお客様

本品は、適正に施工しなければ本来の性能を発揮できません。下記の症状が出る場合、取付け状態を確認、修正してください。
1.本体の電池寿命が異常に短い（本品ではなく、扉側（錠前）に原因がある場合もあります）
2.施解錠時に異音が発生する。

修正後でも改善されない場合、弊社指定のサービス代行店（USSD店）にご連絡ください。有償にて確認、調整させていただきます。

⚠警告

・機器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。
・機器に液体（水、ジュース、薬品等）を入れたり、ぬらさないようにしてください。
　火災、感電の原因となります。

⚠注意

・リモコンキーは「カギ」と同様のものです。紛失の際には機器の使用を速やかに停止し、
　新しいリモコンキーを登録して紛失したリモコンキーを使用不能にするまで機器を使用しないでください。
・本商品は盗難防止装置ではありません。万一、設置後に事故・損害等が発生した場合でも一切責任を負いかねます。
　予めご了承ください。
・特定小電力を使用するため、心臓ペースメーカー等をご使用の方は念のため医療機器メーカー様にご相談ください。
・本品は電気機器ですので、万が一の故障で作動しない場合に備えて、外出の際には必ずカギ（メカキー）を持って外出してください。
・リモコンキーで施錠・解錠を行った場合は、念のためその状態を確認してください。
・本取扱い説明書に従って正しい取付けをしなかった場合、扉が破損する場合があります。
・本体に寄り掛かる、物をぶら下げる等、大きな力を加えた場合、本体が破損する場合があります。
　万が一破損した場合、破損した本体によりケガをしないよう、注意してください。
・リモコンキーで施錠・解錠を行った際、動作が完了する前に扉やサムターンに触らないでください。

Re・born Ⅱ をお使い頂くにあたって

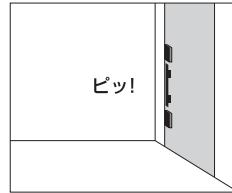
●Re・born Ⅱ の機能

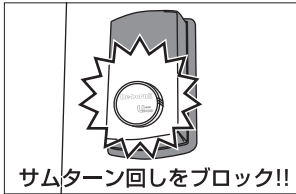
①専用リモコンの
解錠ボタンを押します。

・リモコンの登録方法→P.23
・操作方法→P.26

②本体からブザー音がなり、
ドアロックが解錠します。

・ブザー音について→P.20
・ブザーON/OFF切替→P.20

③一定時間後、
自動施錠します。

・自動施錠ON/OFF切替→P.19
・自動施錠時間切替→P.19

●Re・born Ⅱ の防犯性

サムターン回しをブロック!!

付属のノブキャップをつけることにより
サムターン回しをブロックできます。

・ノブキャップの取付け方法→P.17

⚠注意

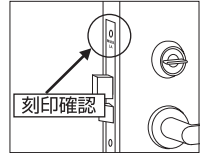
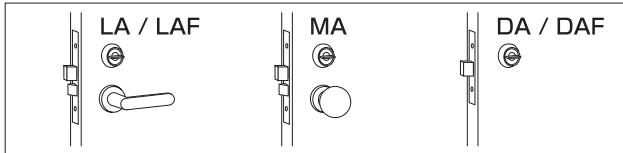
※本商品は盗難防止装置ではありません。万一、設置後に事故・損害等が
発生した場合でも一切責任を負いかねます。予めご了承ください。

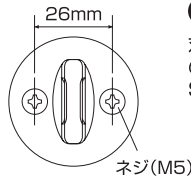
取付け可能な錠前かの確認

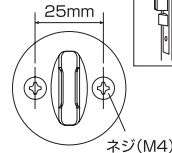
本体の取付け前に以下のことを確認し、本機を使用できる錠前かどうか判別してください

(1) 取付け可能な錠前の形式

LAタイプ 対応錠前は、美和ロック社(MIWA)のLA(レバーハンドル錠)・
LAF(鎌デッドレバーハンドル錠)・MA(ケースロック)・
DA(本締錠)・DAF(鎌デッド本締錠)です。

錠前の形式はフロント
プレートの刻印から
確認することもできます。

LSPタイプ

サムターンを正面から見た際、
右図のようにネジ（M5）2本
で取付けてあり、尚且つネジ
のピッチが26mmのものがLSP
タイプの対象錠前となります。
サムターンの形状は問いません。

TXタイプ

対応錠前はゴール社(GOAL)
のTXK(レバーハンドル錠)・
SK(本締錠)です。

(2) 取付けてある錠前の動作・状態確認

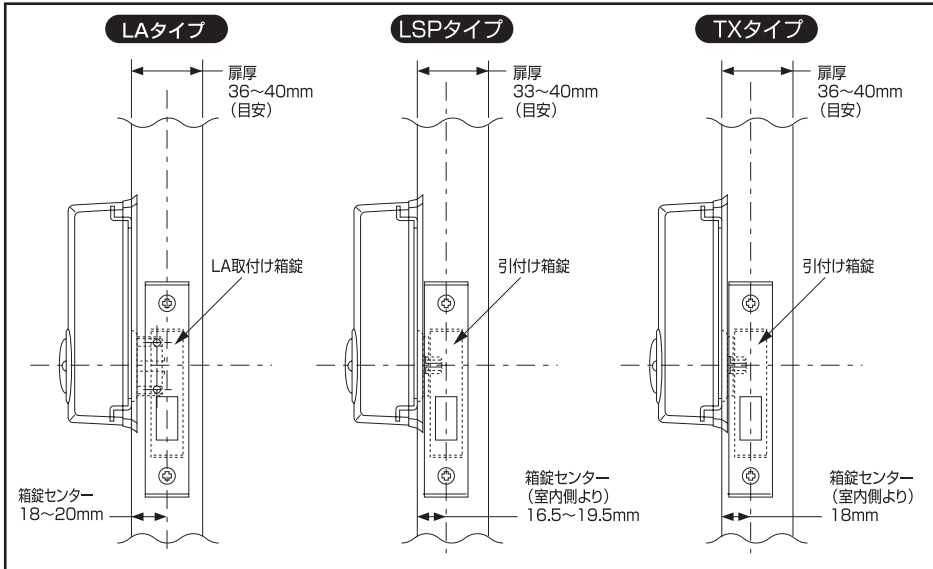
取付け前に以下の項目をご確認ください。

○サムターンが90度回転し、施解錠動作にクリック感があるか。
○扉を閉めた状態でサムターンを施解錠操作した時、デッドボルトと受けが干渉してないか。
○扉の開閉時に扉と枠があたることがないか。　○クローザーによって扉がきちんとしめられるか。

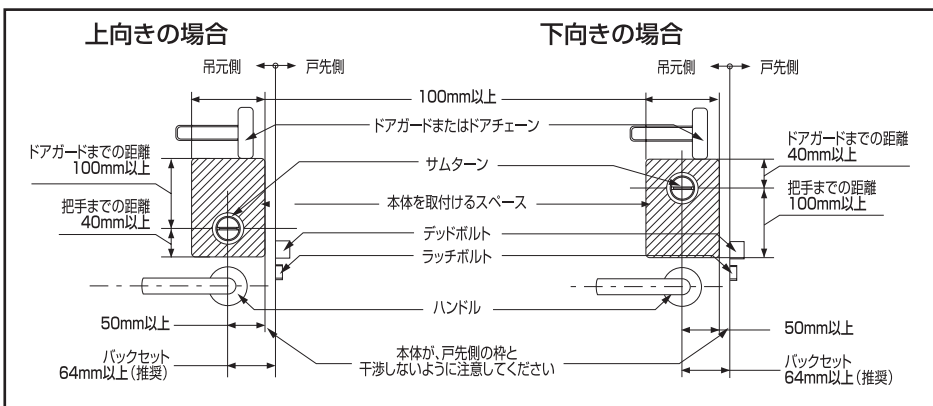
※上記の点で問題がある場合、正常に作動しない場合があります。
錠前取扱い業者へ錠前の調整を依頼してください。

対応扉厚の確認

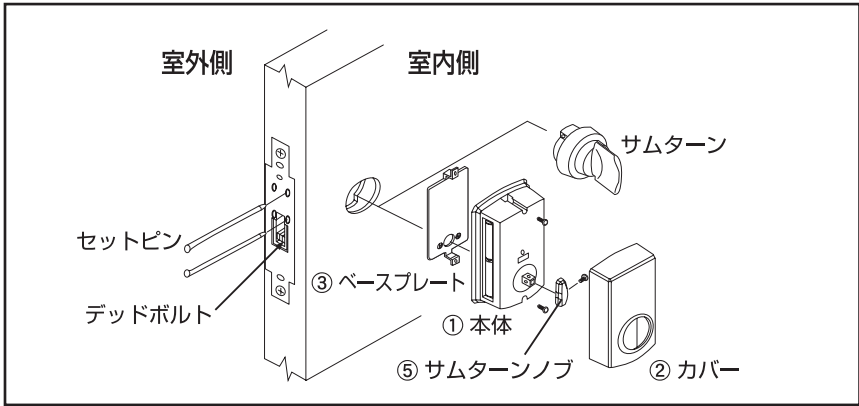
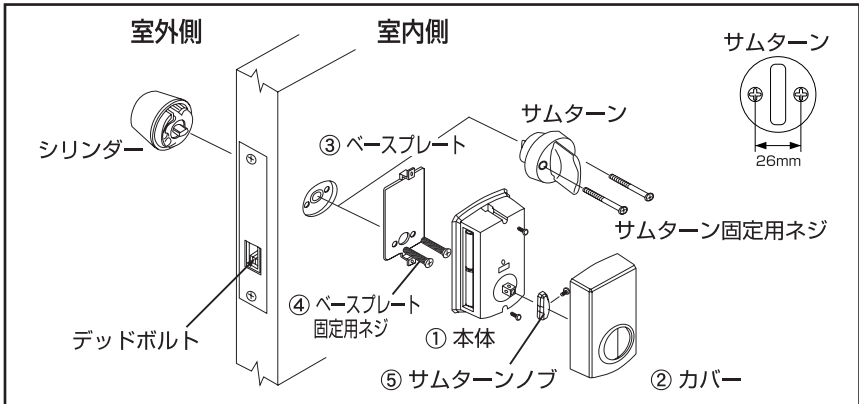
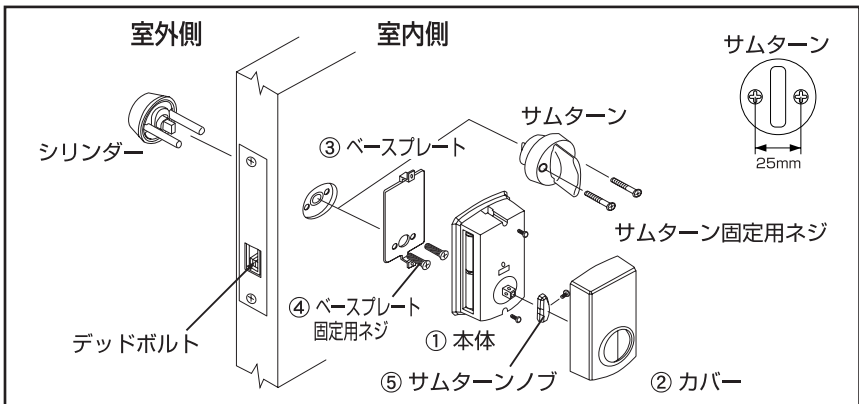
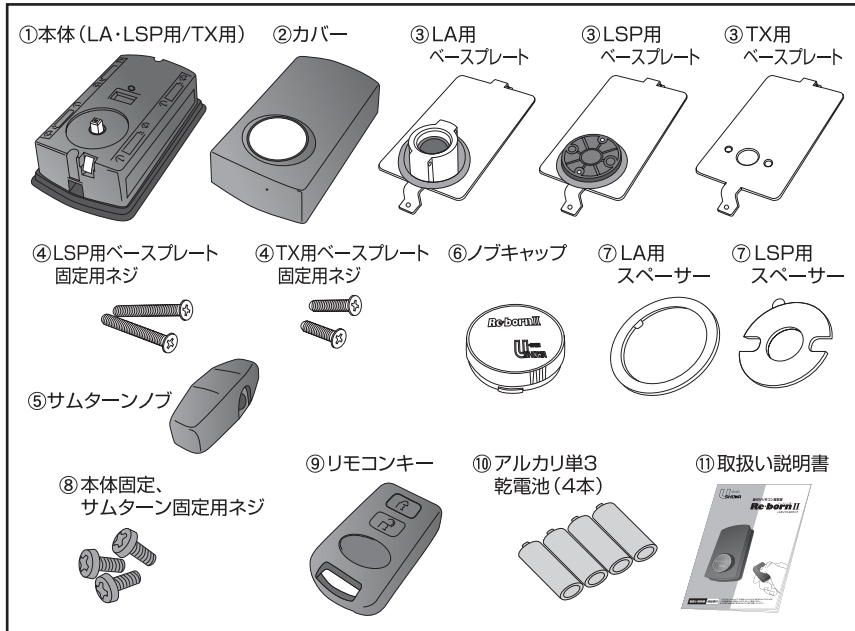
取付け可能な扉厚を下図でご確認ください。

錠種類	室内扉面から箱錠のセンターまでの距離	対応扉厚（目安）
LAタイプ	20mm（スペーサーの使用により18～20mmまで可能）	36～40mm
LSPタイプ	16.5mm（スペーサーの使用により19.5mmまで可能）	33～40mm
TXタイプ	18mm	36～40mm

※上記条件に合わない扉の場合はお問い合せください。

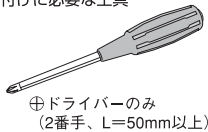
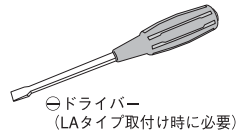
本体取付けに必要な寸法

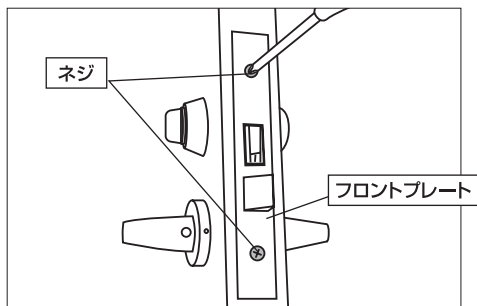
本体の取付け前に、取付ける扉が、下記条件を満たしているかご確認ください。

注）ただし、取付けに必要な寸法を満たしていても、ドアの取付け面がフラットで無い場合は取付けができません。

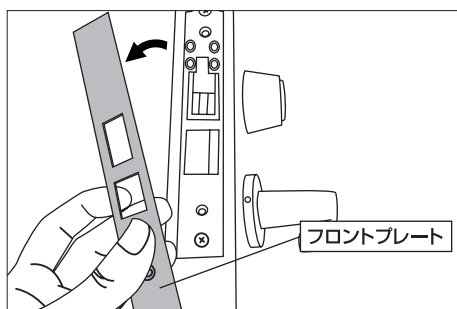
取付け前にご確認ください

LAタイプ取付け図

LSPタイプ取付け図

TXタイプ取付け図

セット内容

商品番号	部品名称	LAタイプ内容品	LSPタイプ内容品	TXタイプ内容品	数量
①	本体	LA・LSP用	LA・LSP用	TX用	1
②	カバー	○	○	○	1
③	ベースプレート	LA用	LSP用	TX用	1
④	ベースプレート固定用ネジ	–	LSP用	TX用	2
⑤	サムターンノブ	○	○	○	1
⑥	ノブキャップ	○	○	○	1
⑦	スペーサー	LA用	LSP用	–	3
⑧	本体固定、サムターン固定用ネジ	○	○	○	3
⑨	リモコンキー	○	○	○	2
⑩	アルカリ単3乾電池	○	○	○	4
⑪	取扱い説明書	○	○	○	1

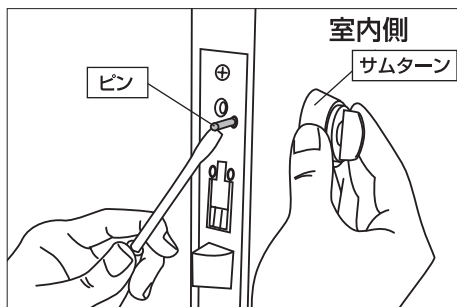
■取付けの際に用意するもの

1.取付けに必要な工具

2.その他必要なもの

LAベースプレート取付け作業　※必ず扉を開いた状態で取付けてください

⚠注意 取付け時に製品端面でけがをしないよう十分に注意してください。

❶ 箱錠のネジを外します。

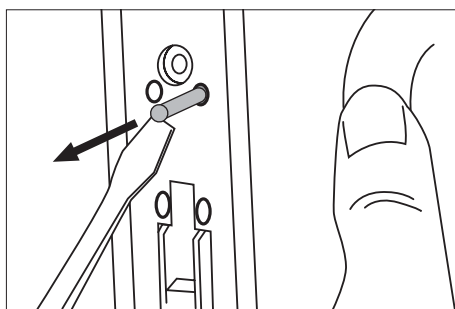
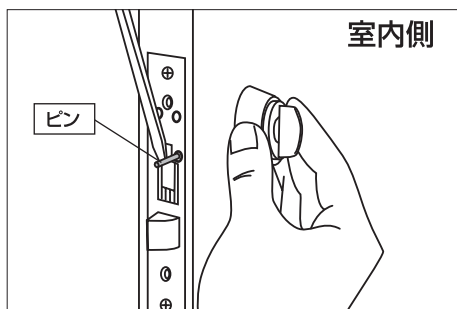
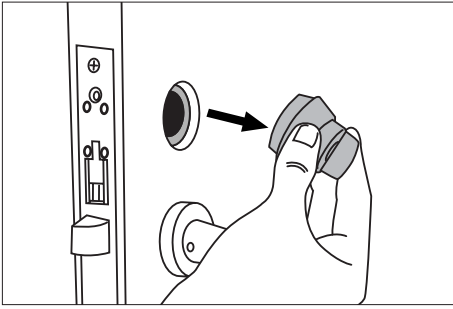
※ネジを外すとフロントプレートが落下する恐れがありますので注意してください。

❷ フロントプレートを外します。

お願い

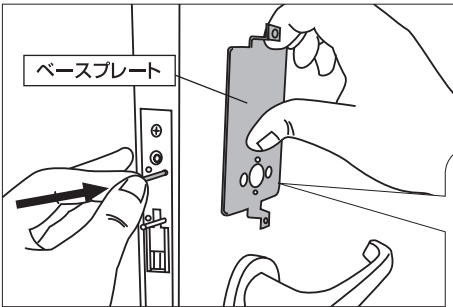
ネジ・フロントプレートは再度使用しますので紛失しないようにしてください。

❸ 室内側に使用されているピン2本を抜き取ります。

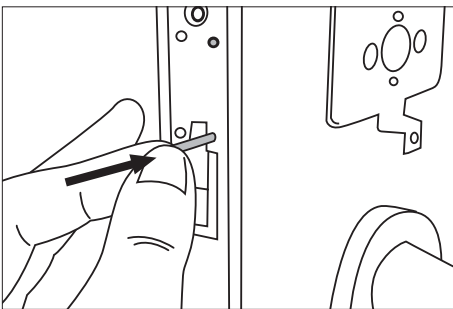
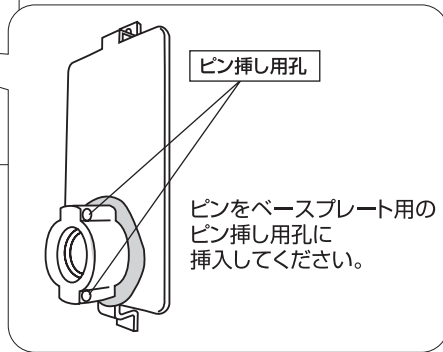
※ピンを抜く際、サムターンが落下しないように注意してください。

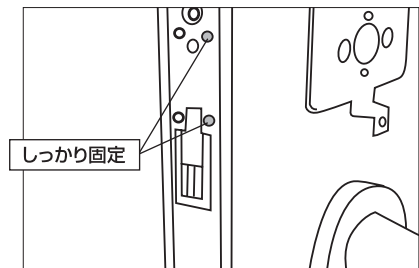
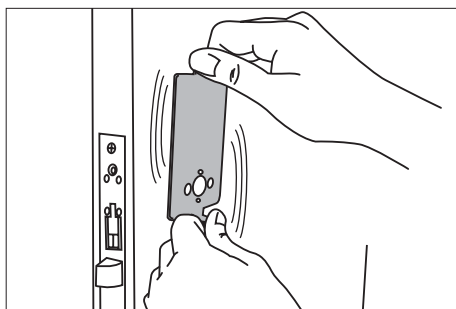
アドバイス

マイナスドライバー等を使用するとピンを簡単に抜くことができます。

❹ サムターンを取り外します。

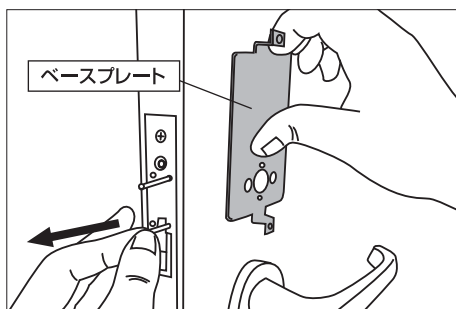
お願い

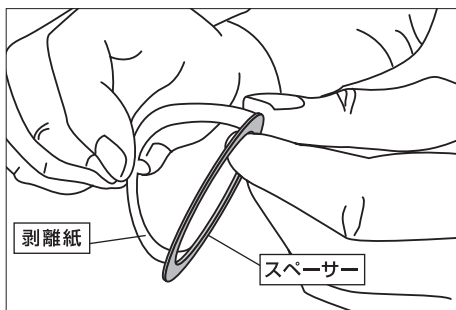
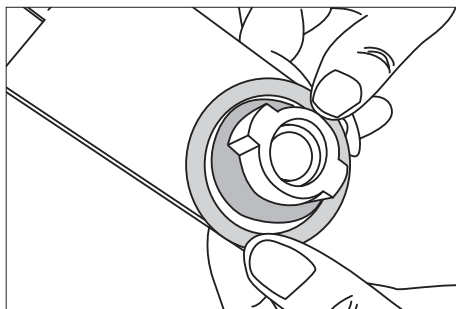
取り外したサムターンは保管しておいてください。

❺ サムターンを外したところに、
付属のベースプレート③を取付けます。

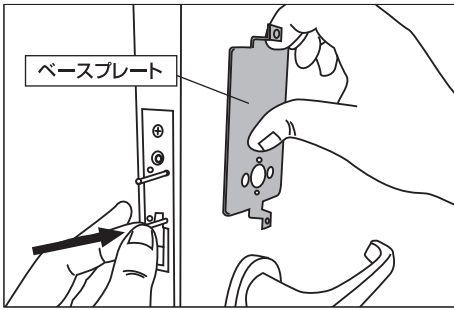
※ベースプレートは上下関係なく取付けることができます。周辺部品に応じて取付け方向を選択してください。

❻ サムターンを固定していたピンで
ベースプレート③を固定してください。

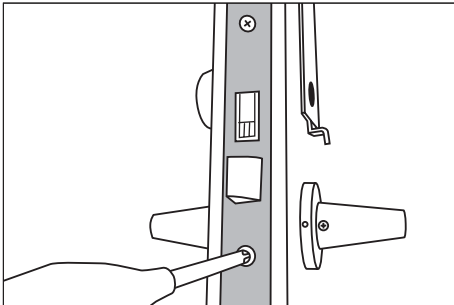
※ピンは根元までしっかり挿入してください。

隙間調整法

❼ ベースプレート③のガタつきを調べます。

ガタつきがある場合は、項目 ❽ ～ ⓫ の隙間の調整を行ってください。

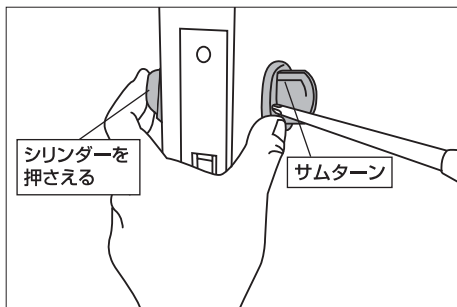
ガタつきがない場合は、項目 ⓬ に従いフロントプレートを取付けてください。

❽ ガタつきが大きい場合、隙間の調整を行います。

取付けたベースプレート③を扉から取り外してください。

❾ 付属のスペーサー⑦の剥離紙をはがします。

❿ スペーサー⑦をベースプレート③ に貼り付けます。

※ガタつきの大きさに応じて
スペーサー（3枚同梱）の枚数を
調整してください。

⓫ スペーサー⑦を取付けた状態で
再度ベースプレート③を固定します。

※ピンを根元までしっかり挿入してください。

⓬ ガタつきがないことを確認したら
初めに外したフロントプレートを
取付けます。

本体取付け作業へ進みます ➡（P.13）

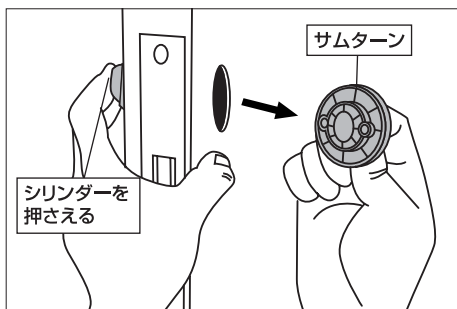
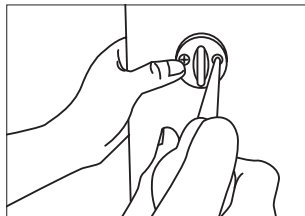
LSP・TXベースプレート取付け作業 ※必ず扉を開いた状態で取付けてください

取付け時に製品端面でけがをしないよう十分に注意してください。

シリンダーを押さえる

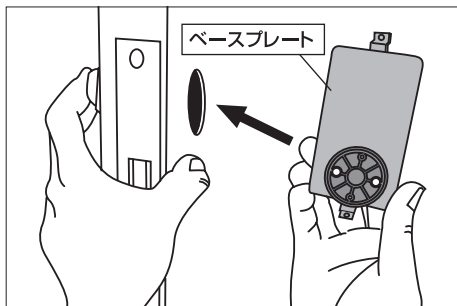
サムターン

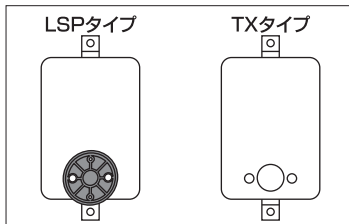
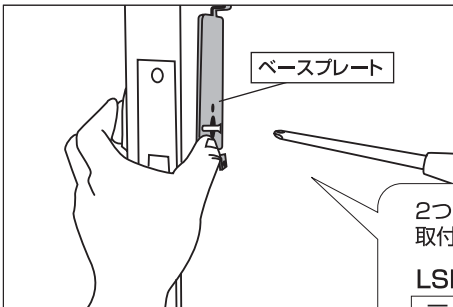
❶ シリンダーを押さえながら現在使用しているサムターンのネジを外します。

お 願 い

シリンダーが落下しますので必ずシリンダーを押さえて作業してください。

❷ サムターンを外します。

お 願 い

サムターンのネジとサムターンは保管しておいてください。

❸ サムターンを外したところに、付属のベースプレート③を取付けます。

※左図はLSPタイプの取付になります。
※ベースプレートは上下関係なく取付けることができます。周辺部品に応じて取付け方向を選択してください。

ベースプレート

❹ 付属のベースプレート固定用ネジ④(2本)を固定ネジ貫通孔と合わせて取付けてください。

2つの部品のネジ貫通孔を合わせて取付けてください。

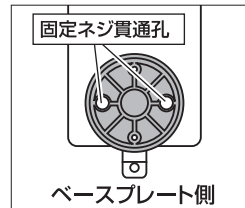
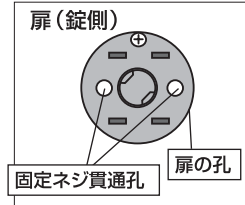
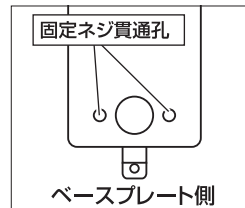
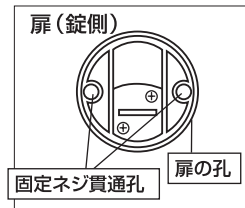
LSPタイプ

扉(錠側)
固定ネジ貫通孔
扉の孔

固定ネジ貫通孔
ベースプレート側

TXタイプ

扉(錠側)
固定ネジ貫通孔
扉の孔

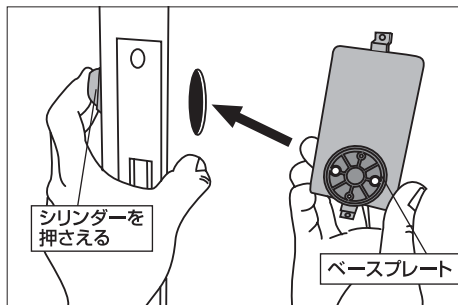
固定ネジ貫通孔
ベースプレート側

⚠注意 サムターンを固定していたネジは使用できません。
必ず付属のベースプレート固定用ネジ④を使用してください。

❺ ベースプレート③の隙間を調べます。
扉面とベースプレート③の間の隙間がなくなるまでベースプレート固定用ネジ④を締め付けます。

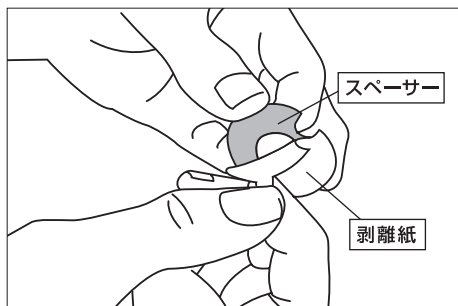
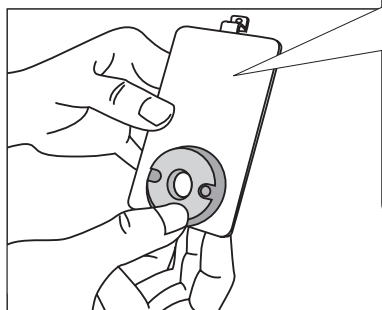
〔LSPタイプについて〕
隙間のない状態から更にネジが締まっていく場合は、扉内の隙間が大きいのでP.12の「隙間調整方法」に従い隙間調整を行ってください。その後、本体取付け作業へ進んでください。

⚠注意 隙間のない状態で更にネジを締め付けると扉面が歪む可能性があります。

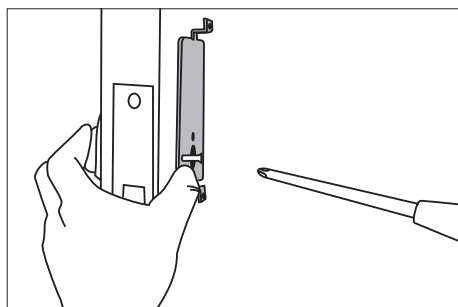
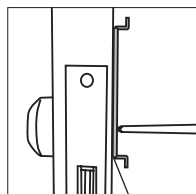
隙間調整方法

LSPタイプ取付け作業

❶ 隙間調整を行います。
取付けたベースプレート③を
扉から取外してください。

お願い

シリンダーが落下しますので必ず
シリンダーを押さえて作業してください。

❷ 付属のスペーサー⑦の剥離紙をはがします。

2つの部品のネジ貫通孔を合わせて貼り付けてください。

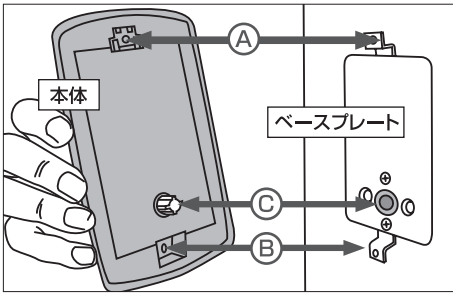
❸ スペーサー⑦をベースプレート③に貼り付けます。

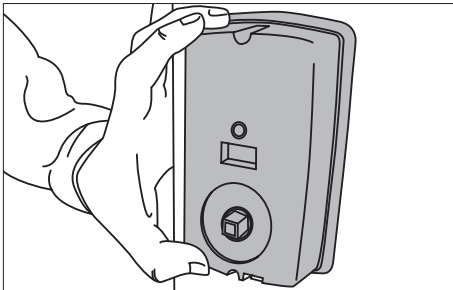
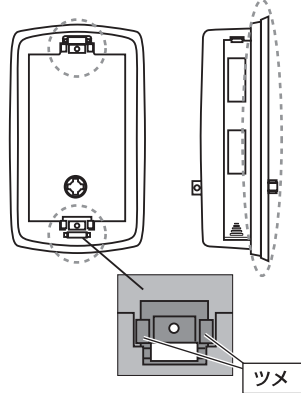
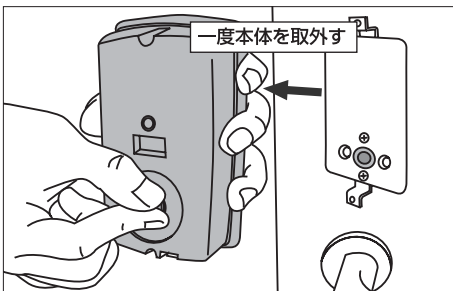
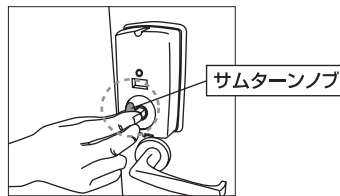
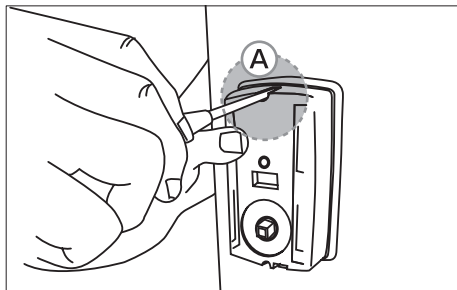
※ネジの締め付けに応じてスペーサー（3枚同梱）の枚数を調整してください。

❹ スペーサー⑦を取付けた状態で再度
ベースプレート③を固定します。

扉面とベースプレート③の
間の隙間がなくなるまで
ネジを締め付けてください。

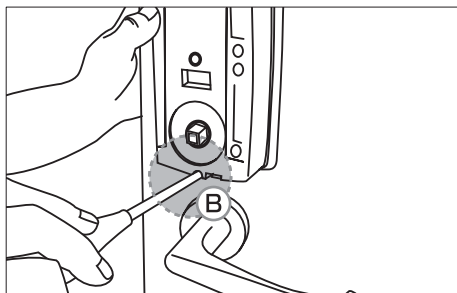
本体取付け作業へ進みます

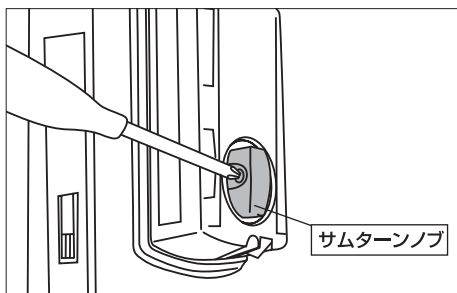
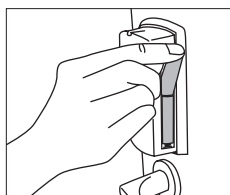
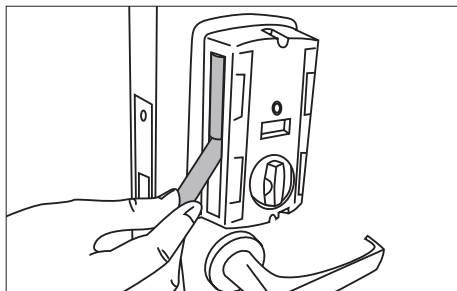
➡（P.13）

本体取付け作業

⚠注意 取付け時に製品端面でけがをしないよう十分に注意してください。

❶ ネジで固定する前に、本体①とベースプレート③のABC3点を合わせ、手で仮固定します。

このとき、本体のゴムカバーがしっかりとツメの下に入っていることを確認してください。

❷ 仮固定状態でシャフトが時計回りか反時計回りのどちらかに90度回転するか確認してください。（手でシャフトを動かしにくい場合は付属のサムターンノブ⑤を使用してください）

もし、仮固定状態でシャフトが回転しない場合はシャフトの角度がずれています。
一度本体①を取外しシャフトを90度回転させ、その状態のまま再度取付け確認を行ってください。

❸ 扉に取付けた状態で、シャフトが90度回転することを確認できましたら、本体を扉へ本固定します。

付属の本体固定、サムターン固定用ネジ⑧を使用し固定します。
（A・B2箇所を固定してください）

❹ 付属のサムターンノブ⑤を本体に固定し、サムターン固定用ネジ⑧を使用して本体のシャフトに取付けます。

※サムターンの向きはお好みで取付けてください。一般的には施錠状態で横、解錠状態で縦となっております。

❺ アルカリ単3乾電池⑩4本を本体に入れてください。

※電池の挿入方法は、P.21の「本体の電池交換方法」をご参照ください。

❻ 本体取付け後、リモコンキー⑨を使用し、本体が正しく作動するかを確認してください。

解錠状態

デッドボルトが出ていない状態

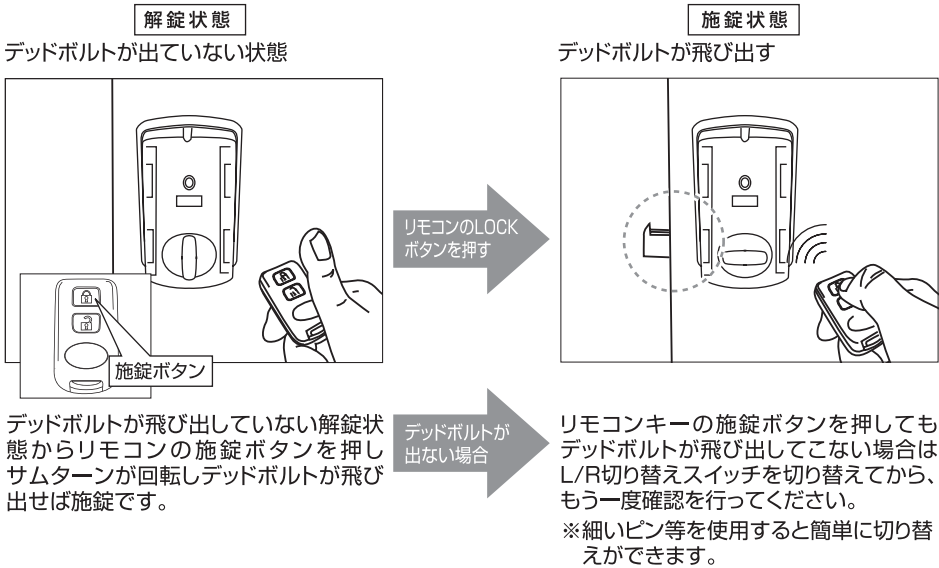
リモコンのLOCK
ボタンを押す

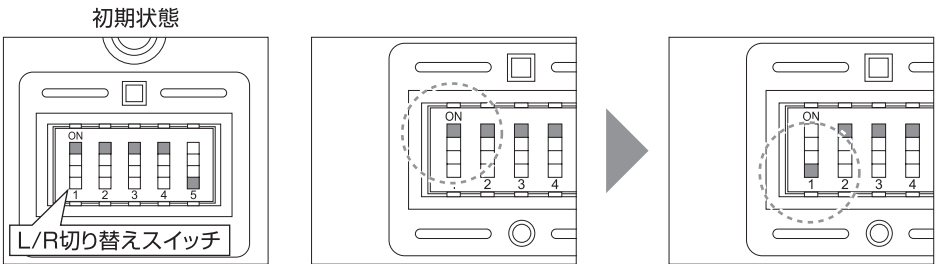
施錠状態

デッドボルトが飛び出す

デッドボルトが飛び出していない解錠状態からリモコンの施錠ボタンを押しサムターンが回転しデッドボルトが飛び出せば施錠です。

リモコンキーの施錠ボタンを押してもデッドボルトが飛び出してこない場合はL/R切り替えスイッチを切り替えてから、もう一度確認を行ってください。

※細いピン等を使用すると簡単に切り替えができます。

L/R切り替えスイッチの切り替え方法（P.18参照）

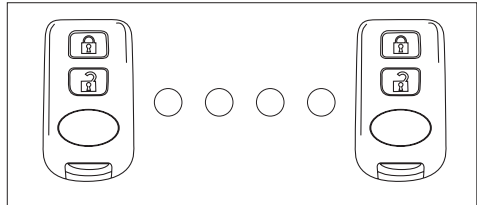
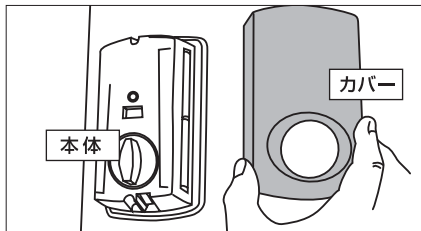
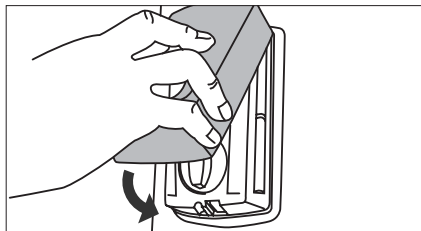
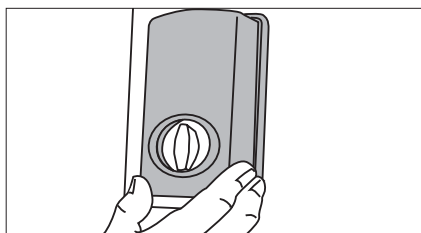
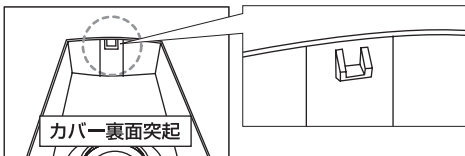
初期状態

⚠警告

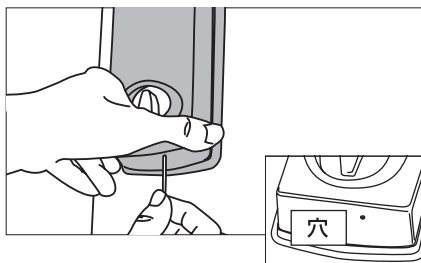
L/R切り替えスイッチが正しく設定されていない場合、勝手に解錠してしまうため防犯上、大変危険です。必ず上記手順に従い、正しく設定してください。

❼ 追加のリモコンキーがある場合
リモコンキーの登録を行ってください。

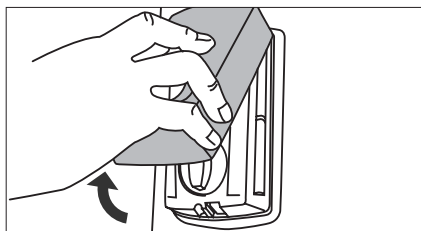
※P.23の「リモコンキー登録方法」をご参照ください。

※付属のリモコンキーは登録済です。

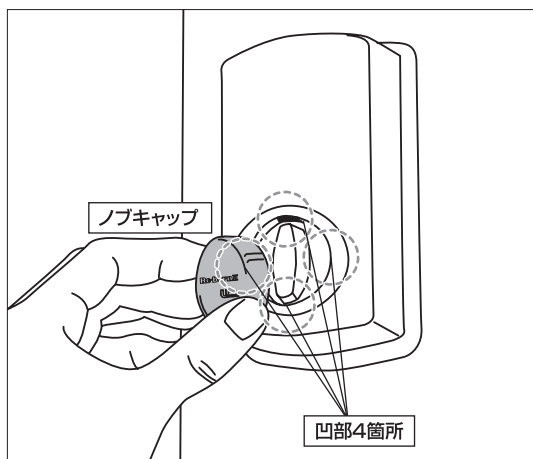
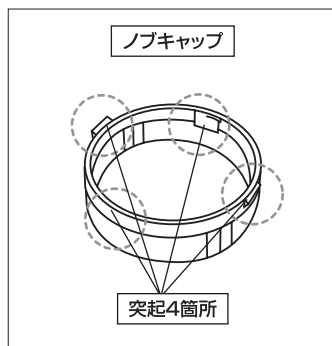
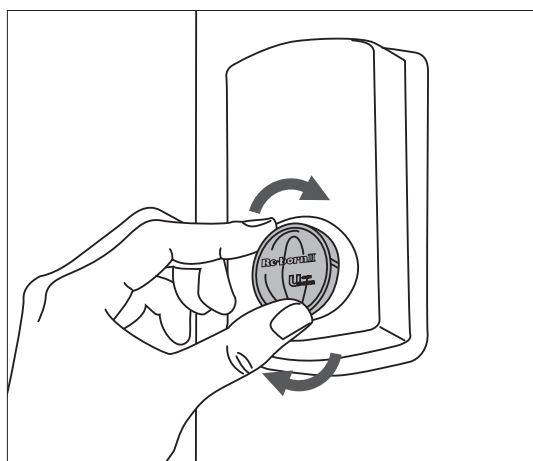
※最大8個まで登録できます。

カバー取付け方法

❶ ディップスイッチ設定、リモコンキー登録が終了したら付属のカバー②を取付けます。

❷ カバー②の突起を本体に引っ掛けます。
※突起位置は下図を参照ください。

❸ カバー②をかぶせます。
※パチッと音がします。

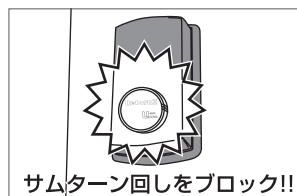
カバー取外し方法

❶ カバー②の穴に精密ドライバーなどの先の細いものを差込みながらカバー②を引っ張ります。
※部品を傷つけないようご注意ください。

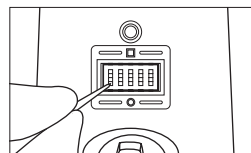
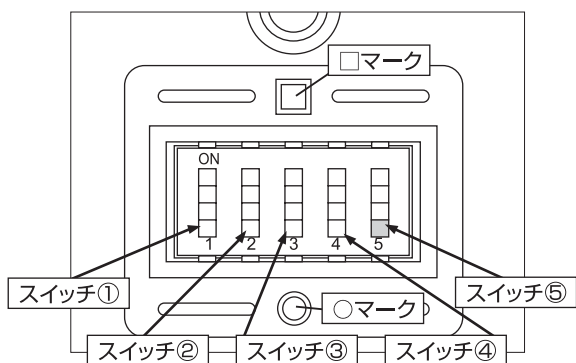
アドバイス

カバーを外す際、サムターン側を引っ張ると、簡単に外れます。

❷ 取外し完了。

ノブキャップ取付け方法

ノブキャップを取付けることで、サムターン回し対策に効果的です。

❶ 付属のノブキャップ⑥を本体へはめ込みます。
※ノブキャップには突起があるので突起が本体の凹部にはまるよう位置を合わせる。

❷ 時計回りにノブキャップ⑥を回して固定したら完了です。

<サムターン回し対策>
ノブキャップを取付けることで、
サムターン回し対策に効果的です。

ディップスイッチの設定変更

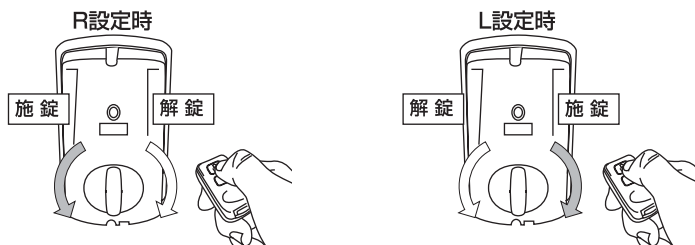
P.16の「カバー取外し方法」に従ってカバーを外し、スイッチを設定してください。

細いピン等を使用すると簡単に切り替えができます。

スイッチNo	1	2	3	4	5
機能	L/R切替	自動施錠ON/OFF	施錠時間	ブザー音ON/OFF	使用しません ※○側にしておいてください
□マーク側	R	ON	30秒	ON	
○マーク側	L	OFF	15秒	OFF	
切替方法	P.18	P.19	P.19	P.20	

L/R切り替えについて

ディップスイッチ1で切り替えることができます。
リモコンキーで操作した時の施錠、解除の回転方向が切り替わります。
扉の開き方向や錠の種類によってL/Rの設定が異なります。

R設定時

L設定時

・R用…リモコンキーの施錠ボタンを押すと、室内側から見てサムターンが反時計回りで動きます。
　　　リモコンキーの解錠ボタンを押すと、室内側から見てサムターンが時計回りで動きます。

・L用…リモコンキーの施錠ボタンを押すと、室内側から見てサムターンが時計回りで動きます。
　　　リモコンキーの解錠ボタンを押すと、室内側から見てサムターンが反時計回りで動きます。

⚠注意

L/R切り替えスイッチ設定後に必ず下記のことを確認してください。

1.デッドボルトが飛び出していない解錠状態からリモコンキーの施錠ボタンを押す。
2.サムターンが回転しデッドボルトが飛び出し、「ピッ！」と音が鳴る。

リモコンキーの施錠ボタンを押しても、「カチッ！カチッ！」と異音が鳴りデッドボルトが飛び出してこない場合は、本体の取付けが適切でないため、再度本体の取付けを確認して下さい。（P.13参照）
また、リモコンキーの施錠ボタンを押しても「ピッ！」と音が鳴りデッドボルトが飛び出してこない場合は、L/R切り替えスイッチを切り替えてから、もう一度確認を行ってください。

自動施錠機能について

自動施錠機能とは…

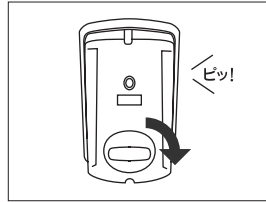
自動施錠ON/OFFで切り替えスイッチをONに設定することで、リモコンキーで解錠した後、一定時間経過すると自動で施錠を行う機能です。**再度リモコンで操作すると、自動施錠状態に戻ります。**自動施錠完了後にはブザー音「ピッ！」が鳴ります。（ブザー音ON時）

〈自動施錠ON/OFF切り替え機能〉

・ディップスイッチ2で設定を切り替えることができます。

①ON設定時の動作
・リモコンで解錠した場合のみ、一定時間経過すると自動で施錠します。

※ブザー音ON時、解錠ブザー

一定時間経過後…

※ブザー音ON時、施錠ブザー

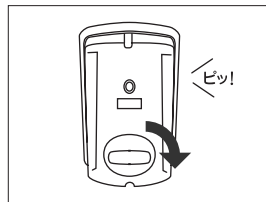
②OFF設定時の動作
・リモコンで解錠しても自動で施錠しません。

〈自動施錠時間切り替え機能〉

・自動施錠をONにしている場合、リモコンで解錠後に自動で施錠するまでの時間を30秒又は15秒のどちらかに切り替えることができます。
切り替えはディップスイッチ3で行います。

①30秒設定時の動作
・リモコンで解錠後、30秒経過すると自動で施錠します。リモコン、手動での施錠は行えます。

②15秒設定時の動作
・リモコンで解錠後、15秒経過すると自動で施錠します。リモコン、手動での施錠は行えます。

※ブザー音ON時、解錠ブザー

※ブザー音ON時、施錠ブザー

⚠注意

自動施錠ON設定時は、扉が開いている場合でも自動施錠動作が行われます。
突然デッドボルトが飛び出し、ケガ等の原因になりますので、15秒又は30秒以上扉を開けたままにする場合は、必ず手動で解錠し扉を開けるようにしてください。
デッドボルトが出たまま扉を閉めると、扉や枠の破損の原因となります。
扉を閉める際はデッドボルトが出ていないことを確認してください。

⚠警告

自動施錠ON設定時に、室内からリモコンキー解錠し、リモコンキー（およびメカキー）を持たないまま室外へ出た場合は、一定時間経過後に自動施錠され、室外へ締め出されてしまいます。
自動施錠ON設定時に室外へ出る時は、必ずリモコンキー（またはメカキー）を携帯するか、手動解錠（自動施錠がされません）により室外へ出るようにしてください。

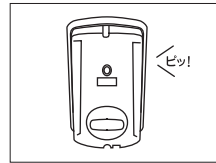
ディップスイッチの設定変更

ブザー音について

本体のブザーで様々な状況をお知らせします。
（ブザー音は本体からのみ鳴ります。ONに設定してもリモコンキーからはブザー音は鳴りません。）

〈ブザーON/OFF切り替え機能〉
・ディップスイッチ4で設定を切り替えることができます。

①ON設定時の動作
・リモコンで操作した場合や、自動施錠を行った場合に本体からブザーが鳴ります。
※リモコンにはブザーを搭載していない為、ONに設定してもリモコンからブザーは鳴りません。

施錠が完了すると…

②OFF設定時の動作
・リモコンで操作した場合や、自動施錠を行った場合に本体からブザーが鳴りません。

■基本操作時

	状　況	ブザー音	ブザーON/OFF切替
1	解錠状態でリモコンキーの施錠ボタンを押し施錠させた時。	ピッ×1回	可
2	施錠状態でリモコンキーの解錠ボタンを押し解錠させた時。	ピッ×2回	
3	施錠状態でリモコンキーの施錠ボタンを押した時。	ピッ×1回	
4	解錠状態でリモコンキーの解錠ボタンを押した時。	ピッ×2回	
5	自動施錠により施錠した時。	ピッ×1回	

■登録作業中

	状　況	ブザー音	ブザーON/OFF切替
1	登録スイッチを押し、登録モードになった時。	ピッ×3回	不可※
2	登録モード中にリモコンキーを操作しリモコンが認識された時。	ピッ ×リモコン認識数	
3	最後のリモコンキーを操作してリモコンキーが認識された後、30秒経過した時。	ピー×1回→ ピッ×リモコン登録数	
4	登録モードになり、リモコンキー操作せず30秒経過した時。	ピー×1回	

■電池チェック

	状　況	ブザー音	ブザーON/OFF切替
1	電池残量が少なくなってきたときにリモコンキーで施解錠動作を行った、あるいは自動施錠により施錠した時。	ピッ×5回	不可※
2	1のブザーが鳴り始めても電池交換を行わず、リモコンキーで施解錠をし続けた。あるいは、自動施錠により施錠した時。	ピー（5秒間）×1回	
3	電池交換時に電池を逆に入れた時。	ピー（5秒間）×1回	

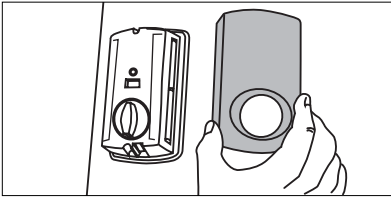
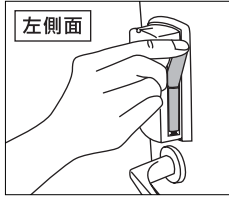
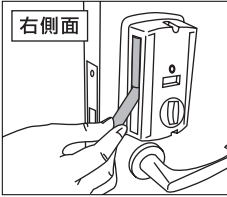
※電池を逆に入れた場合でも、電源端子に電池が触れていないとブザー音は鳴りません。
※本体の電池を交換する際、リモコンキーの電池交換も同時に行うことをお勧めします。

■エラー発生時

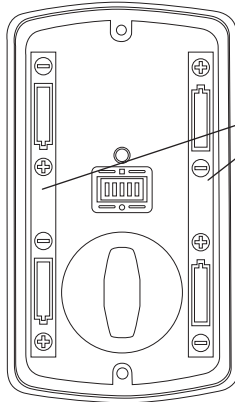
	状　況	ブザー音	ブザーON/OFF切替
1	リモコンキー操作により本体が施錠（又は解錠）しようとしたが、鍵が回らず5秒間経過した時。	ピッ×20回	不可※

※ブザーON/OFF切替不可…ブザーON/OFF設定に関わらず、ブザー音が鳴ります。

本体の電池交換方法

※製品に付属している電池は動作確認用の為、寿命が短い場合があります。

❶ P.16の「カバー取外し方法」に従ってカバーを外します。

❷ 本体の両側に入っている電池(4本)を取出し、新しい電池を入れます。

電池の入れる向きは、
本体の刻印に従ってください。
電池はアルカリ単3乾電池を使用してください。

〈電池向き刻印〉

左右で電池向きが異なりますので注意してください。

お願い

- 電池の極性を逆に入れないでください。
- ぬれた電池を使用しないでください。
- 新しい電池と古い電池、メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
  電池の液もれ、発熱、破裂等の原因となります。

❸ P.16の「カバー取付け方法」に従ってカバーを被せます。

⚠注意

- 電池を入れた後、必ずリモコンキーで動作確認を行ってください。
  動作しない場合、電池を逆に入れている可能性があります。
- 電池を入れた後、ブザー音がなる場合があります。すぐに、電池の向きを確認してください。
  電池を逆に入れている可能性があります。

■電池交換の目安

施解錠時、下記ブザー音が鳴ったら電池を交換してください。

①電池残量が少なくなってきたとき：ピッ×5回

②更に使い続けた場合：ピー（5秒間）×1回（施解錠動作はしません）

完全に電池がなくなると、ブザー音は鳴らなくなります。

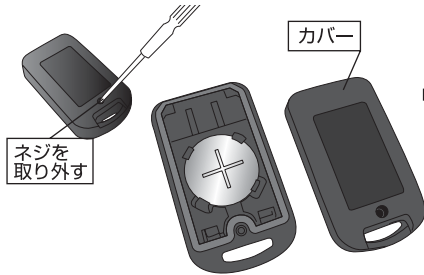
※①の状態で使用する場合、通信距離が短くなる、反応が鈍いなどの問題が起こる場合があります。

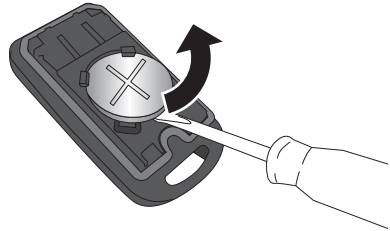
※①の状態で50回程度（使用環境により異なる）施解錠させると②の状態になります。
①の状態になったら電池交換することをおすすめします。

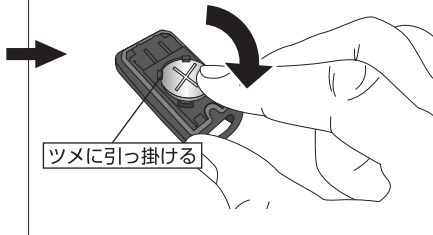
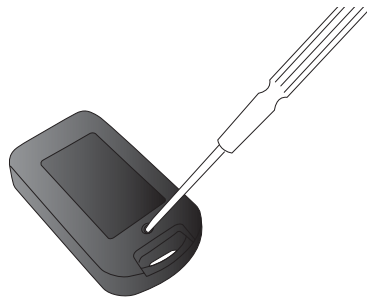
リモコンキーの電池交換方法

電池交換

1.ネジ（1本）を取外してカバーを開きます。

※電池および取外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。

2.マイナスドライバー等で電池の手前から押し上げ電池を取外します。

※電池交換時には部品を紛失しないでください。

3.新しい電池の**（＋）極を上にして**、奥のツメに引っ掛けた後、電池手前を「パチッ」と音がするまで押し込みます。

※電池の（＋）（－）極は正しい向きに取付けてください。
※内部にゴミ・油等付着しないように注意してください。

4.カバーをネジでケースに取付けます。

リモコンキーの電池寿命の目安は、通常のご使用（1日10回程度の玄関の出入り）で約2年です。
リモコンキーの作動距離が極端に短くなった場合は、直ちに電池を交換してください。

○電池の規格：**リチウム電池CR2032**　1個、および相当品

※カメラ店・家電量販店・コンビニエンスストア等でお買い求めいただけます。また、電池の交換には市販の精密ドライバーを使用してください。
※アルカリ電池は使用しないでください。
※工場出荷時の電池は動作確認用の為、寿命が短い場合があります。

アドバイス

○電池交換した後に、新たに登録操作を行う必要はありません。
○普段使用しないリモコンキーは、電池の消耗を防ぐため、　電池を外した状態で保管することをお勧めします。
○本体電池交換時、リモコンの電池も併せて交換することをお勧めします。

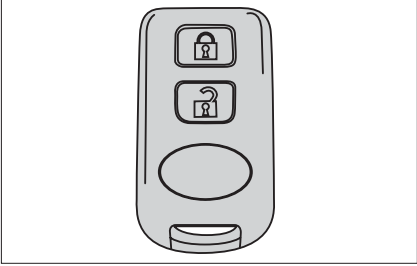
お願い

リモコンキーは信号発信器を内蔵している電子部品です。故障の原因となりますので以下の項目をお守りください。

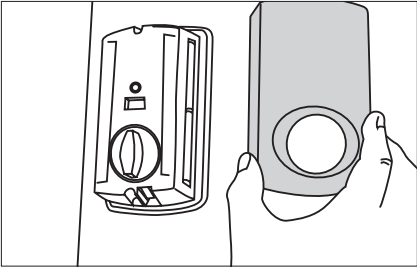
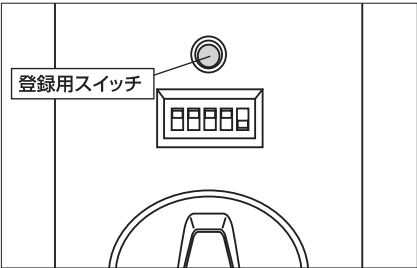
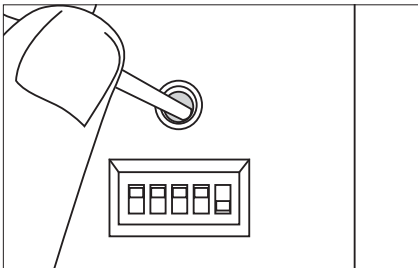
- ●窓際など高温になる場所には置かないでください。
- ●電池の交換以外の分解はしないでください。
- ●無理に曲げたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ●水にぬらさないでください。
- ●磁気を帯びたキーホルダー等を付けないでください。
- ●テレビ・ラジオ等、磁気を帯びた機器の近くに置かないでください。
- ●超音波洗浄機で洗浄しないでください。

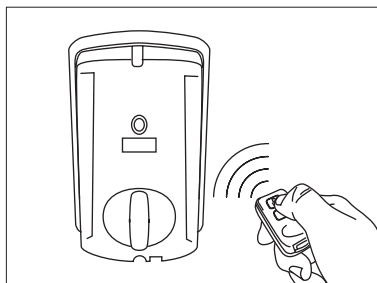
リモコンキー（追加）登録方法

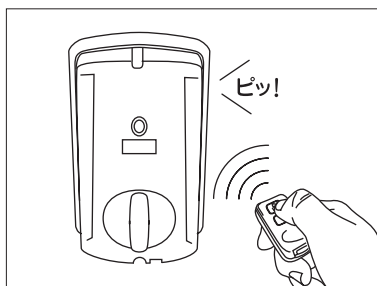
※付属のリモコンキー⑨（2個）はあらかじめ登録済みです。

リモコンキーの数を増やす場合、リモコンキー登録を行う必要があります。
※追加するリモコンキーは、別途購入する必要があります。

❶ 登録したいリモコンキーを用意します。
（最大8個まで登録可能です。）

※リモコンキーの新規登録作業を行うと作業時に使用したリモコンキーのみ登録されます。以前に登録したリモコンキーは使用できなくなりますので、継続して使用する場合はそちらも合わせて登録作業を行ってください。

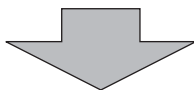
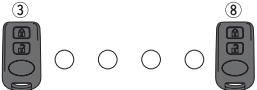
※2ロックでご使用の場合は、本体1個ずつ順次登録してください。

❷ P.16の「カバー取外し方法」に従い、
本体のカバー②を取外します。

❸ 本体の登録用スイッチを押します。（1秒程度の長押し）スイッチを押した後、ブザーが3回鳴ります。（ピッ×3回）
ブザーが鳴り終わると、登録モードになります。

スイッチは精密ドライバーなどの先の細いもので押してください。

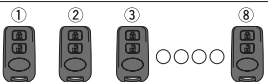
※部品にキズをつけないようご注意ください

❹ 登録したいリモコンキーのボタンを押します。

※押すボタンは解錠、施錠どちらでも構いません。
※複数のリモコンキーのボタンを同時に押さないでください。
登録は1個ずつしかできません。

❺ 本体がリモコンキーの電波を認識すると、
ブザー音が1回鳴るので、確認してください。

❻ 複数のリモコンキーを登録する場合は、2個目以降も同様に続けて❹、❺の登録作業を行ってください。（その時、登録スイッチは押さずに、リモコンキーのボタンのみ押してください）

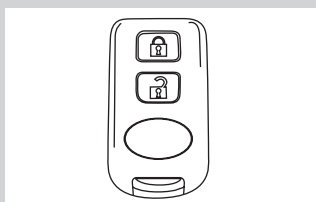
※認識したリモコンキーの数のブザー音がなります。（ピッ×リモコンキー認識数）

❼ 登録したいリモコンキーを全て認識させた後、30秒お待ちください。
30秒経つとブザーが1回鳴り（ピー）その後、登録したリモコンキーの数だけブザー音が鳴り、登録モードが終了します。

リモコンキー登録完了

※登録スイッチを押し登録モードになった後、リモコンキーの登録を行わず30秒間放置すると
ブザー（ピー）が1回鳴り、登録モードが終了します。（古いものは削除されません）

リモコンキーの登録・抹消

別売りのリモコンキーを後から追加することができます。（合計8個まで）
その際、リモコンキーの登録が必要となります。なお、新たに登録すると、それまでの登録内容は全て消去されますので、すでに登録済みのリモコンキーも再登録してください。

リモコンキーを紛失した場合、不正解錠を防止するため、登録しているリモコンキーを登録抹消する必要があります。

❶ 紛失した（登録抹消したい）リモコンキー以外のリモコンキーを用意します。

❷ P.23、P.24の「リモコンキー登録方法」に従って、リモコンキーを登録します。

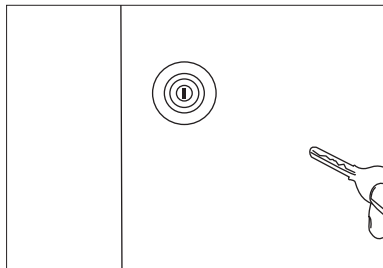
❸ 登録抹消完了。登録した以外のリモコンキーは使用できなくなります。
※最低1個のリモコンキーが登録されている必要がありますので全てのリモコンキーの登録を抹消することはできません。

リモコンキー・手動の操作方法

室外側から

リモコンキーでの操作方法

〈解錠時〉
リモコンキー操作範囲内でリモコンキーの解錠ボタンを押す。
本体のブザーが2回なり、解錠します。
（本体のブザーをOFFにしている場合は鳴りません）

〈施錠時〉
リモコンキー操作範囲内でリモコンキーの施錠ボタンを押す。
本体のブザーが1回なり、施錠します。
（本体のブザーをOFFにしている場合は鳴りません）

手動での操作方法

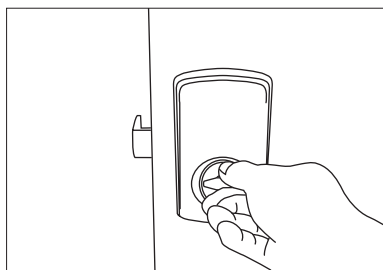
解錠時、施錠時とも、
従来のカギ〈メカキー〉で
シリンダーを操作してください。

手動で解錠操作を行った場合、
自動施錠モードに設定していても
自動施錠しません。

室内側から

リモコンキーでの操作方法

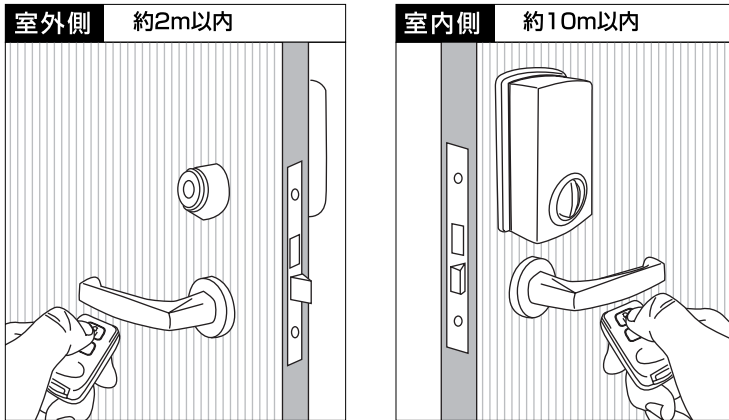
〈解錠時〉
リモコンキー操作範囲内でリモコンキーの解錠ボタンを押す。
本体のブザーが2回なり、解錠します。
（本体のブザーをOFFにしている場合は鳴りません）

〈施錠時〉
リモコンキー操作範囲内でリモコンキーの施錠ボタンを押す。
本体のブザーが1回なり、施錠します。
（本体のブザーをOFFにしている場合は鳴りません）

手動での操作方法

解錠時、施錠時とも、従来と同様サムターンを操作してください。
（サムターン使用時は、ノブキャップを外して操作してください。）

手動で解錠操作を行った場合、自動施錠モードに
設定していても自動施錠しません。

作動範囲及び仕様について

■作動範囲

上記作動範囲について

1）遮蔽物がない場合の作動距離です。
2）電波状況、使用環境などにより、作動距離が変化する場合があります。
3）最大で30m程度まで作動する場合があります。
4）上記の作動範囲は目安であり、保証するものではありません。

お願い

室内側では条件（環境）によって、30m程度の作動距離となる場合があります。
誤作動防止のため、下記内容を守ってください。

●本体が見えないところでの操作（目視確認ができない状況）は行わないでください。
●誤ってボタンを押さないよう、室内ではポケットやバッグから出して保管してください。

■定格

電源電圧：DC6V（本体）
DC3V（リモコン）
電池寿命：約1年（本体）
約2年（リモコン）
変調方式：AM方式
搬送周波数：315MHz
使用周囲温度範囲：0℃～50℃
色調：ブラック（本体）
ブラック（リモコン）
使用範囲：一般家庭

故障とお考えになる前に

電動による扉の施錠/解錠が正常に動作しなくなった時には、本体が電池切れ警告をしていないのを確認後、次の手順に従ってお調べ頂き、それでも動作しない場合は、お求めの販売店にご相談ください。

●はじめに確認して頂きたいこと

■リモコンキーによる施錠/解錠ができないとき…

原　因	対　策
リモコンキーの登録がされていない。	登録をしてください。（P.23、P.24参照）
リモコンキーの電池が消耗している。	リモコンキーの電池を交換してください。（P.22参照）
周囲温度が0℃以下または50℃以上。	手動で施錠/解錠してください。
本体の電池が入っていない。	本体に電池を入れてください。（P.21参照）
本体の電池が完全に消耗している。	本体の電池を交換してください。（P.21参照）
本体およびリモコンキーが結露している。	結露のない状態で使用してください。
L/R切り替えの設定が適切ではない。	ディップスイッチの設定変更にてL/R切り替えを行って下さい。(P.18参照)

■本体のサムターン（ツマミ）を手で回すと固いとき…

原　因	対　策
扉が完全に閉まりきっていない時、建付けがくるってしまった時に、リモコンキーによる施錠を行うと起きる。過負荷から部品を保護する為の機能がはたらき起こる現象ですので、故障ではありません。	扉の位置を調整してください。本体の取付け位置を調整してください。調整後リモコンキーによる施解錠を行ってください。(正常に戻ります)

●詳細に確認していただきたいこと

■施錠ができないとき…

現　象	対　策
リモコンキーにて施錠しようとしたが、サムターン周辺部から「カチッ！カチッ！」と異音がしたあと、ブザーが約20回鳴った。	通常施錠するまでの時間は約3秒程度ですが、左記ブザーが鳴るということは、施錠するまでの時間が5秒間でも完了しなかったことをお知らせしています。 原因として次のことが考えられます。 ①扉と枠の間に異物が挟まり、扉が完全に閉じていない。 ②ストライク(受け)の穴に異物が詰まっている。 ③扉・枠の建付けが悪くなり、扉が完全に閉まらない。 ④ストライク(受け)の取付け位置がずれている。 ⑤本体の取付け位置がずれている。 ⑥本体のディップスイッチ設定（L/R切り替えスイッチ）が適切でない。 ※①および②の場合は、異物を取り除いてもう一度施錠してください。 ※③および④⑤の場合は施工業者にご依頼の上、不都合部位を修正してください。 ※⑥の場合はP.18の「L/R切り替えについて」に従い、L/R切り替えスイッチの設定をしてください。

■施錠/解錠ともできないとき…

現　象	対　策
一度登録を行った全てのリモコンキーで施錠/解錠ができない。	誤って、又は不正にリモコンキーの登録操作を行った可能性がありますので、再度全てのリモコンキーを登録してください。(P.23、P.24参照)
リモコンキーによる施錠/解錠ができない。	リモコンキーの電池が消耗しています。リモコンキーの電池を新しいものに交換してください。 電池の規格は「CR2032」です。 カメラ店・家電量販店・コンビニエンスストア等でお買い求めください。 なお、電池の交換によるリモコンキーの再登録は必要ありません。(P.22参照) リモコンキーのボタンを押してから3秒以内に再度リモコンキーを押し操作しようとした場合、2度目の操作については動作しません。連続して操作を行う際は3秒以上間隔を開けて操作してください。

■解錠ができないとき…

現　象	対　策
リモコンキーにて解錠しようとしたが、サムターン周辺部から「カチッ！カチッ！」と異音がしたあと、ブザーが約20回鳴った。	通常解錠するまでの時間は約3秒程度ですが、左記ブザーが鳴るということは、解錠するまでの時間が5秒間でも完了しなかったことをお知らせしています。 扉が開く方向に力が加わりますと、電気的に解錠しづらくなりますので、解錠し終わるまでは、サムターンの回転を妨げるように触ったり、扉にもたれたりしないでください。 この状態でリモコンキーによる施解錠を行なってください。(正常に戻ります。) なお、繰り返しこの現象が続きますと、破損の原因となりますのでお買い求めの販売店へご相談ください。

■勝手に解錠するとき…

現　象	対　策
リモコンキーで施錠し一定時間経過後、自動で解錠する。	ディップスイッチのL/R切り替えの設定が適切でない可能性がありますので、L/R切り替えの設定を再度ご確認下さい。(P.18参照) 設定後は自動施錠機能がON設定となります。 自動施錠機能はディップスイッチの設定でON/OFFの切り替えができます。(P.18、19参照)

保　証　書

■販売店様へ

ご販売時に貴店にて、保証書の所定事項（お買い上げ日、販売店欄に捺印）をご記入の上、お客様にお渡しください。

■お客様へ

本書は、無料修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、販売店に修理をご依頼ください。

品　　名	Re･born Ⅱ（リ・ボーンⅡ）
適合錠タイプ	
保証期間	本体お買い上げ日より１年間
お買い上げ日	年　　月　　日
※販売店	住所・店名 印 電話番号　　（　　　）
※お客様	ご住所　〒 お名前 様 電話番号　　（　　　）

※印欄に記入のない場合有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。（所定事項に不備がある場合、保証期間中でも有料修理扱いとなる場合があります）　本書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、下記記載内容（無料修理規程）により無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

１．取扱い説明書の注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書を持参、ご掲示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。
２．なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または直接「弊社営業部」までご連絡ください。
３．次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。
（1）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（2）お買い上げ後の落下や輸送上の故障および損傷。
（3）火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷。
（4）本書のご掲示がない場合。
（5）本書に、お客様名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
（6）一般家庭用以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
（7）ご使用後のキズ、変色、汚れ、および保管上の不備による損傷。
（8）消耗部品の交換。
４．本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
５．ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
６．出張修理をご依頼される場合は、出張に要する実費を申し受けます。

取扱い説明書 No.B5A95A-00-03

改定 2011 年 12 月

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
なお、ご不明な場合は、お買い上げの販売店又は直接「弊社営業部」へ、お問い合わせください。

株式会社 ユーシン・ショウワ
URL：http://www.u-shin-showa.co.jp
本　　社：大阪府茨木市中河原町 17-35
〒567-0063　TEL. 072-643-5657　FAX. 072-641-3726
東京支店：東京都港区芝大門1-1-30　芝NBFタワー
〒105-0012　TEL. 03-5401-4667　FAX. 03-5401-4685
福岡出張所：福岡県福岡市博多区博多駅南3-15-13
〒812-0016　TEL. 092-451-8755　FAX. 092-451-8798